

前期「学校評価アンケート」にご協力いただきありがとうございました

前期の学校評価は、保護者や教職員、児童生徒のアンケート結果と、授業参観等でいただいたアンケートの結果を踏まえて分析をしました。紙面では、保護者アンケートの結果を学部別の表にして掲載しています。教職員のアンケート結果もこの表に併記しています。

今年度前期は休校期間があったことや、生徒の学習活動に制限があったこと、また、保護者参観が行われなかつたことなど、例年とは違った状況の下でのアンケートとなりました。そのような理由もあり、「わからない」と回答した保護者の数が例年よりも多く見られ、保護者の実現度に対する肯定的な回答、否定的な回答の割合に影響が生じているとも考えられます。今後も様々な状況、社会情勢の変化などが予測されますが、児童生徒、保護者、教職員が繋がり合い、バルーン構想を重んじ、学校として課題に真摯に向き合っていきたいと考えます。

なお、前期学校評価アンケートにつきましては、自由記述欄でいただいたご意見もすべて、全教職員に周知しています。皆様の貴重なご意見を参考にして、全教職員で課題改善に取り組んでまいります。これからも、よろしくお願ひいたします。

また、後期の「学校評価アンケート」は1月上旬に実施する予定です。ご協力をよろしくお願いいたします。

＜前期学校評価アンケート結果分析について＞

◎実施 令和2年9月

◎方法 各項目について「重要度」と「実現度」を5段階で回答（児童生徒は実現度のみ）

◎回答率 * 1家庭に1枚配布

	保護者	児童生徒	教職員
回答数	153	108	123
回答率	80.0%	55.0%	98.0%

◎アンケート項目について

今年度の学校教育目標に沿って、めざす児童生徒像の七つの姿を基に作成しています。

学校教育目標

社会参加し、生き生きと活動したいという児童生徒の願いを実現するために個々の可能性を最大限に伸ばす

めざす児童生徒像

- 自分の心や体を大切にする人
- 人を大切にし、共に生きる人
- 願や夢に向かってすすむ人
- 負けない心をもってすすむ人
- 役割を担い、役に立とうとする人
- 挨拶をする人
- ルールや約束を守る人

めざす学校像

- 生命を守りきる学校
- 児童生徒の学びを大切にする学校
- 信頼される学校（保護者や地域との信頼関係を基にした、安心・安全で開かれた学校）
- 教職員が夢や希望をもって働ける学校

めざす教職員像

- 児童生徒の健康・安全を守る人
- 児童生徒を愛し、児童生徒の人権を大切にする人
- 児童生徒の主体性を尊重する人
- 授業を愛し、熱意をもって児童生徒を指導・支援する人
- 自らの専門性向上をめざして日々精進する人
- 保護者や地域と連携し、他の教職員と協力しながら仕事をする人

3年構想



＜吳竹バルーン構想＞

＜吳竹バルーン構想とは＞

共生社会の実現や自立と社会参加をめざし、吳竹総合支援学校再構築に向け、昨年度より3年計画で展開しています。

※詳しくは、学校ホームページ「学校教育目標・経営方針」のフォルダをご参照ください。

◎【表】アンケート結果

・重要度は「重要である」と「やや重要である」、実現度は「よく出来ている」と「大体出来ている」の回答を合わせた割合(%)を保護者(学部別)と教職員で表示しています。

質問項目	重要度				実現度			
	小	中	高	教職員	小	中	高	教職員
◆自分の心や体を大切にする人◆								
・学校は、健康維持や体力づくりに十分取り組んでいる	100%	94.6%	100%	100%	94.8%	94.5%	94.5%	95.5%
・学校は、児童生徒が健康について意識できるように取り組んでいる(「しんどい」ことを伝える、薬を飲む等)	97.4%	100%	98.6%	98.9%	76.3%	83.7%	82.2%	91.0%
・児童生徒は、自分の心や体を大切にしようとする姿が育っている	100%	100%	100%	100%	78.9%	72.9%	76.7%	92.3%
・学校は、感染症予防について児童生徒が意識できるように取り組んでいる(手洗いの励行、マスクの着用等)	97.5%	100%	100%	100%	78.9%	80.5%	88.9%	87.4%
◆人を大切にし、共に生きる人◆								
・学校は、児童生徒がいろいろな人と関わって活動できるように取り組んでいる(校内、地域等)	97.5%	97.3%	100%	100%	92.1%	94.6%	90.4%	82.2%
・学校は、児童生徒が相手のことを考えて行動しようとする態度を育てる取組をしている	100%	100%	98.5%	100%	86.8%	80.5%	79.5%	87.8%
・児童生徒は、いろいろな人と関わって、自分らしく活動している(校内、地域等)	100%	97.3%	100%	100%	86.8%	94.6%	83.3%	90.0%
◆願いや夢に向かってすすむ人◆								
・学校は、児童生徒の願いや目指す姿を、本人や保護者と共有している	100%	100%	100%	100%	100%	94.6%	87.7%	94.4%
・学校は、児童生徒の願いや目指す姿の実現に向けて包括支援プランを作成している	100%	100%	98.6%	100%	100%	100%	97.2%	97.7%
・学校は、児童生徒の目指す将来の姿や進路の実現に向けて、個々に応じた指導や支援を行なっている	97.4%	100%	98.6%	100%	78.4%	83.8%	88.9%	93.3%
・学校は、児童生徒の目指す将来の姿や進路の実現に向けて、情報発信を行なっている	97.3%	100%	98.6%	97.8%	81.0%	72.9%	90.4%	86.6%
・児童生徒は、願いや夢に向かって生き生きと学習している	100%	94.6%	98.6%	99.0%	86.5%	78.3%	79.5%	88.9%
◆負けない心をもってすすむ人◆								
・学校は児童生徒が苦手なことに挑戦したり、最後まで活動に取り組んだりできるよう支援や指導をしている	94.6%	94.6%	97.1%	98.9%	82.8%	100%	88.4%	97.7%
・児童生徒は、初めてのことや苦手なことに挑戦したり、最後まで活動に取り組んだりしている	94.6%	97.3%	95.6%	98.9%	85.7%	88.3%	85.5%	94.4%
◆役割を担い、役に立とうとする人◆								
・学校は、児童生徒が役割を担うことで、やりがいを感じて活動できるようにしている	100%	97.3%	100%	100%	85.7%	85.3%	82.6%	97.7%
・児童生徒は、様々な場面で役割を担い、やりがいを持って活動している	97.2%	97.3%	98.5%	100%	76.5%	79.4%	73.9%	97.7%
◆挨拶をする人◆								
・学校は、児童生徒が自分なりの方法で、挨拶できるように取り組んでいる	97.3%	100%	98.5%	100%	85.7%	88.2%	86.9%	97.7%
・児童生徒は、自分なりの方法で挨拶をしている	94.6%	100%	97.0%	100%	85.7%	79.4%	89.9%	97.7%
◆ルールや約束を守る人◆								
・学校は、児童生徒がルールや約束を守ることの大切さを学べるように、指導をしている	94.6%	100%	100%	100%	82.4%	75.7%	89.7%	94.2%
・児童生徒は、様々な場面でルールや約束を守って行動している	94.4%	100%	98.5%	100%	76.5%	64.7%	79.7%	94.0%

◆全体に関すること◆

・学校は、児童生徒の健康・安全を守っている	100%	100%	100%	100%	91.4%	97.1%	98.5%	97.4%
・学校は、児童生徒を愛し、児童生徒の人権を大切にしている	100%	100%	100%	100%	82.9%	91.2%	95.7%	93.2%
・学校は、授業を大切にし、熱意をもって、児童生徒の指導や支援をしている	100%	100%	100%	100%	91.1%	97.1%	92.7%	94.9%
・学校は、学年だよりや学校だより、学校ホームページ等を通して学校の様子を伝えている	100%	97.3%	100%	100%	100%	100%	91.3%	96.6%



(1) <自分の心や体を大切にする人>

生徒が自分の心や体を大切にする力は生涯必要となる大切な力である。
児童生徒が心身ともに健康に過ごしていくために個に応じた丁寧な指導を行う。

全4項目の重要度について保護者全体（以下保護者）、教職員全体（以下教職員）共に肯定的な回答（「重要である」「やや重要である」：以下同じ）が多い結果となりました。一方、実現度についての肯定的な回答は各部の保護者や各項目によって72.9%から94.8%と差がありました。児童生徒アンケートの「自分の心や体を大切にしている」「しんどくなった時は、先生や家の人に伝えている」の項目に対する「そう思う」の回答はそれぞれ89%，78%でした。全4項目中で、どの学部も保護者の実現度の肯定的な回答が70%台だったのは「児童生徒は、自分の心や体を大切にしようとする姿が育っている」の項目でした。各学部の発達段階、また、一人一人の課題の違いにより、このような結果になったと考えられます。学校生活全般において前年度に引き続き、児童生徒の心身の変化や毎日の体調管理に心を配り、保護者や保健室と連携をとりながら丁寧な指導をしていきたいと考えます。

(2) <人を大切にし、共に生きる人>

日常の学校生活、交流及び共同学習、学校行事などの機会、地域での活動など様々な場面で経験を重ね、児童生徒が相手のことを考えて行動しようとする力を育む。

全3項目の重要度についての肯定的な回答率は高く、実現度については、保護者、教職員共に86%を超える結果となりました。項目ごとに見ると、「学校は、児童生徒が相手のことを考えて行動しようとする態度を育てる取組をしている」の実現度が、他の2つの項目より80.9%とやや低めでした。今年度の前期は新型コロナウィルスのための臨時休業もあったため、児童生徒が共に活動する機会が少なかったことや交流及び共同学習をする機会が持てなかつたことで、児童生徒が人と接して、相手のことを考えて行動しようとする経験が通常より少なかったと思われます。児童生徒が相手のことを考えて行動しようとする態度を育てるために、特別な行事だけでなく、日常の学校生活の中で児童生徒が相手のことを考えた行動や態度は大いに褒めて評価し、学校、地域、家庭と様々な場で、人を大切にし、共に生きる力を育んでいきたいと考えます。

(3) <願いや夢に向かってすすむ人>

三者の願いから立てた目標を達成していくことにより、児童生徒は願いや夢に向かうことができる。
多様な学習形態、学びの場により学習を保障していくことで、児童生徒が生き生きと学び、目標を達成していくことができるような授業作りを目指す。

全5項目のうち「児童生徒は、願いや夢に向かって生き生きと学習している」の項目の実現度についての保護者の肯定的な回答は他の項目に比べて低めの結果でした。一方、10月の授業参観時の保護者アンケートでは「児童生徒は、生き生きと活動していますか」の項目で肯定的な回答（無回答は除く）は97.0%でした。学校での児童生徒の様子をさらに詳しく保護者に伝える必要もあると思われます。また、現在取り組んでいる「広がれ、学びのカタチ 大作戦！」の中で、多様な学習形態・学びの場による学習を行うことにより、児童生徒が願いや夢をさらに大きく膨らませる学習環境づくりを目指します。



(4) <負けない心をもってすすむ人>

個々の生徒がステップアップしながら課題に挑戦し、最後まで取り組むことができる授業作りを目指す。また、児童生徒の頑張る姿を学校と保護者が共有し、双方から褒められたり、励まされたりすることも大切であると考える。

全2項目のうち「学校は児童生徒が苦手なことに挑戦したり、最後まで活動に取り組んだりできるよう支援や指導をしている」の項目について「わからない」と回答した小学部保護者は11.4%と他の学部より多い結果となりました。学部、学年が上がるにつれて、できることが少しずつ増えて、中学部ではワークスタディなど学習の幅が広がり、高等部では福祉体験実習など、学校や家庭から離れた場で活動に取り組んだり、挑戦したりする機会が増えることも回答結果の一因だと考えられます。個々の生徒がステップアップしながら課題に挑戦し、最後まで取り組むことができる授業作りを目指すことが大切です。また、児童生徒の頑張る姿を学校と保護者が共有し、双方から褒められたり、励まされたりすることも大切であると考えます。

(5) <役割を担い、役に立とうとする人>

校内に限らず、地域等様々な場で役割を担い、役に立とうとする人になれるよう、「できる状況づくり・できる環境づくり・できる自分づくり」を授業の視点としていく。

全2項目のうち「児童生徒は、様々な場面で役割を担い、やりがいを持って活動している」の項目については、実現度についての肯定的な回答は指導者が97.7%であるのに対して、保護者は75.9%の結果となりました。学校では児童生徒は自分の役割を果たし、褒められたり、感謝の言葉をかけられたりすることにより、やりがいを感じ、自ら行動に移す姿も見られます。今年度の学校目標のキーワードでもある「地域への発信・地域での展開」を目指し、地域の清掃活動やリサイクル活動、届け物活動を実施する中で、地域の方からもお礼を言われ、人と関わり合いながら、役割を担い、やり遂げる喜びを感じる機会があります。校内に限らず、様々な場で役割を担い、役に立とうとする人となれるよう「できる状況づくり・できる環境づくり・できる自分づくり」を授業の視点としていくことが大切だと考えます。

(6) <挨拶をする人>

挨拶を通して人との関わりの輪を学校、家庭、地域に広げることを目指す。

全2項目のうち「児童生徒は自分なりの方法で挨拶をしている」の項目の実現度について肯定的な回答は教職員が97.7%であったのに対して、保護者は86.3%の結果となりました。学校では友だちや教職員から声をかけられる機会が家庭に比べて多く、友だち同士で挨拶をしている姿を見かけることも多いと思われます。また、視線や表情など自分らしい方法で応える姿も見られます。今後も、挨拶を通して、人との関わりの輪を学校、家庭、地域へと広げていくことを目指します。

(7) <ルールや約束を守る人>

児童生徒が見通しを持った状況の中でルールや約束を守る学習を積み重ね、様々な場面で経験を重ねることにより、学んだことを家庭、地域、社会生活へと繋げていくことを目指す。

全2項目のうち「児童生徒は、様々な場面でルールや約束を守って行動している」の項目の実現度について、保護者の肯定的な回答は75.2%の結果となりました。学校では、一日の流れが比較的明確で、ルールや約束を守りながら、見通しを持って過ごすことができる反面、家庭や地域生活では、関わる人や時間帯、タイミングなど、いろいろな要素が複雑に絡まり合い、学校でのできる姿を発揮したり、生かしたりしづらい状況があると考えられます。学校において、児童生徒が見通しを持った状況の中でルールや約束を守る学習や経験を重ねることにより、学んだことを家庭、地域、社会生活へと繋げていくことを目指します。



(8) <全体に関すること>

学校が「児童生徒の健康・安全を守る」、「児童生徒の人権を守る」、「熱意をもって指導や支援をする」ことは、必要不可欠なこと。学校の様子や児童生徒の活動状況などを家庭と共有していく。

〈全体に関すること〉についての質問は4項目ありました。学校が「児童生徒の健康・安全を守る」、「児童生徒の人権を守る」、「熱意をもって指導や支援をする」ことは必要不可欠なことです。また、学校は学年だよりや、学年だより、学校ホームページなどを通して、学校の様子や、児童生徒の活動状況などを家庭と共有していくことにより、信頼を重ねていくことが引き続き大切であると考えます。

アンケートにご協力をいただきありがとうございました。

